

令和元年9月吉日

千葉県香取市助沢 832-1
医療法人社団 寿光会 栗源病院
院長 萱野幸三

<台風15号の影響について>

連日報道されておりますように、9月8日深夜から翌9日早朝にかけて関東、特に千葉県を直撃した台風15号は、家屋の損壊に加えて、今までに経験したことのない大規模停電をもたらすなど想像以上の甚大な被害を与え、いまだにライフラインが中断されている地域も多く残っている状況です。心より御見舞い申し上げます。また一刻も早いライフラインの完全復旧を祈念しております。

栗源病院も9月9日早朝に暴風雨により窓ガラスが割れ、現在は回復しておりますが、ガラスの破片により数名の入院患者様が負傷されました。さらに同日からは停電によりエアコンが作動せずに、病室内の温度・湿度ともに上昇し、入院患者様に適切な療養環境が提供できずに熱中症様症状を発症された患者様、また見通しの立たない不安感から精神的ストレスを受けられた患者様もおられました。御家族様からお預かりさせていただいております大切な入院患者様に対してはもちろんのことですが、御家族の皆様にも多大な御心配と御迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

幸い行政からの強い働きかけにより、9月11日深夜に災害緊急時用の電源車が到着し送電が開始されるとともにエアコンが復旧し、室温調整が可能となり入院患者様の環境が少しずつ改善されていくという経過でした。

病院としましては、災害対策本部を病院内に設置し必要物資の手配に努め、自家発電により可能な限りの扇風機を各病室に設置したり、また通常の入院とは異なる災害緊急時の対応として、病状変化に際して災害派遣医療チームの応援を依頼するなどの対応を行いました。しかしながら今回の災害においては、多数の患者様に肉体的・精神的に不快な環境を強いる結果となり、御家族様にも御心痛を与える結果となりましたこと、改めてお詫び申し上げます。

最後に、停電や断水などのライフラインの中断、さらには家屋の損傷など依然として過酷な生活環境の中で過ごされている御家族様も多数おられるものと思われまふ。一刻も早く御家族様の皆様がいつもの生活に戻っていただけることを心より祈念しております。